

地方だより



耐風の百葉箱（第1号）

昭 31. 12. 22 完成（岩田組）枕崎測候所

台風銀座1丁目1番地より

「鹿児島県は台風銀座，枕崎市は台風銀座1丁目，枕崎測候所はその1番地，私は1番地の主（あるじ）である」と昭和33年9月14日に日曜随想としてNHK鹿児島放送より放送以来「台風銀座1丁目1番地」なる新術語は忽ちジャーナリズムが取上げ現在は鹿児島県内の流行語となったばかりでなく全国的にも使用されている（文春5月号や大阪読売新聞5月29日参照）。

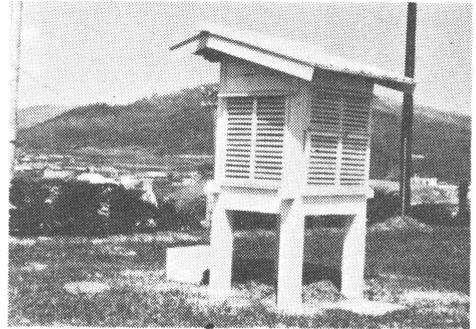
ところで台風と言えば枕崎，枕崎と言えば台風を思い出す位に枕崎市は台風の名所である。だから台風銀座としてNHKのテレビ「日本の素顔」にも登場した次第。

創立以来春風秋雨36年（この間木造庁舎3回改築）台風との戦いに老朽化した木造建物も遂に多年の念願かなって鉄筋コンクリート建に改築され去る3月17日落成式を挙げたのである。建物面積1階188.2平方米，2階28.5平方米である（写真3）。

何しろ台風銀座の小高い丘の上にあるので暴風雨，潮風，白蟻などの被害では台風時には頭痛の種子だった危険庁舎も今は堅牢でスマートな建物となり枕崎市の名所の一つとして浅緑の庁舎が光彩を放っている。職員も明るい表情で張切っている。市民も共に喜んでくれる。見学者も多く来るようになった。

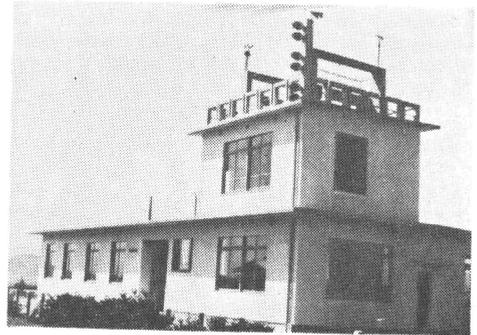
すべての建物を耐風的に改造して行きたいと思って先づ第1に百葉箱の耐風的设计を計画して，百葉箱の鉄筋

枕崎測候所



耐風の百葉箱（第2号）

昭 34. 3. 10 完成（神崎組）枕崎測候所



枕崎測候所新庁舎

起工 昭 33. 10. 25

完工 昭 34. 2. 17（神崎組）

建物面積	1階	188.2 平方米	2階	28.5 平方米
	計	216.7 平方米		

化を考え（写真1，2参照），次のようなものを製作したのである（この耐風の百葉箱第1号の設計図は測候時報第24巻第10号参照）（写真1）。

- (1) 耐風の百葉箱（第2号）昭和34. 3. 10. 完成（白ペンキ3回塗）
- (2) 脚部（鉄筋コンクリート）15cm 角
- (3) 地上 1米 地下1米
- (4) 改修費 7,300円（神崎組）
- (5) 考案者 伊集院久吉

この耐風の百葉箱（伊集院式百葉箱と名づけることにする）は台風，潮風，白蟻，多湿などの被害防止に理想的である。木造の百葉箱をコンクリート製脚部の上にボルト締めにしてあるので修繕も容易であり，大暴風の時も動揺しない上に補強用支柱などを取付ける必要もないので露場美の観点から見ても効果的である。

台風路に当る気象官署や白蟻，雨くされなどに悩む官署において百葉箱改修の機会などにこの伊集院式百葉箱の設計が少しでも参考になるならば幸と思ふ次第である

（昭和34. 6. 10枕崎測候所 伊集院久吉）